

「幸せはこぶ『筑北クロージャープラン』」の推進

～生涯学習社会の一員としての資質づくり～

筑北村・筑北村教育委員会

筑北クロージャープラン

- あいさつをしよう 汗を流そう 本を読もう 対話をしよう

1 「筑北クロージャープラン」の策定の趣旨と願い

昨今の少子高齢化や国際化、高度情報化など、子どもたちを取り巻く家庭・社会環境が大きく変わり、人々との結びつきが希薄化する中、教育のあり方が大きく変わり、「個性化・多様化・自由化」という潮流は、時代が要請する必然と考えられます。

しかしながら、どのように社会的な状況が変貌しようとも、人としての生き方にかかわる不易なるものを大切にしなければならないと考えます。

我が筑北村においても、平成19年3月に筑北村民憲章が制定され、前文及び五つの具体目標の中に、教育にかかわる内容が触れられています。この村民憲章から、生涯学習社会の一員としての資質づくりにかかわって、人としての生き方に求められているものを探ってみたいと思います。

筑北村民憲章に込められている願いは、長野県が十年ほど前より進めている、人や自然への思いやりややささなど、豊かな道徳性の涵養を図る「『共育』クロージャープラン」〈本を読む・汗を流す・あいさつ・声がけをする・スイッチを切る〉と同様なものであると考えられます。

そこで、筑北村のすべての住民が、筑北村民憲章の願いに基づいた『筑北クロージャープラン』を、日々の暮らしの中で推進することにより、我が村がますます幸せになることを願って、本プランが地道に実践されることを提唱いたします。

2 基本的な考え方

- (1) 各園・各校では、数年来『共育』クロージャープランの願いを受けて、「読書活動」や「体力づくり」、「あいさつ運動」を展開しているので、その活動を継続していくこととする。
- (2) 平成24年度より、「筑北クロージャープラン」の4項目の中から一つの項目を選び、全村あげて、その項目（共通目標）の実践に取り組むこととする。
- (3) 各関係機関における「筑北クロージャープラン」の実践を発表し合い、日々の暮らしの中に、それらの成果がどのようにはぐくまれてきているのかを確かめ合う機会をもつこととする。

3 実践例

- (1) あいさつをしよう

○ 「おはようございます。」「おやすみなさい。」などの気持ちのよいあいさつ

＜家 庭＞

- | | |
|---|---------|
| ○ 「ありがとうございます。」「ごめんなさい。」などの声の掛け合い | <園・学校> |
| ○ 声掛けと手渡しによる回覧板や配り物などの配布 | <地 域> |
| ○ 「いいねえ。」「やってみようか。」などの日常的な声掛け | <地域 社会> |
| (2) 汗を流そう | |
| ○ 家族の一員として、進んで行う家事やお手伝いなど | <家 庭> |
| ○ 清掃活動や福祉・ボランティア活動などへの主体的な取組 | <園・学校> |
| ○ 地域の活動や行事などへの積極的な参加 | <地 域> |
| ○ 子どもも大人も一緒になって取り組む農業や自然体験活動 | <地域 社会> |
| (3) 本を読もう | |
| ○ 子どもも大人も一緒になって本を読む「読書の日」 | <家 庭> |
| ○ 紙芝居や絵本などの読み聞かせや全校一斉読書 | <園・学校> |
| ○ 地域の図書館や図書室の活用 | <地 域> |
| ○ 子どもの誕生日に本のプレゼント | <地域 社会> |
| (4) 対話をしよう | |
| ○ テレビやゲーム機などのスイッチを切り、時間を有効に活用して行う家族との対話 | <家 庭> |
| ○ コンピュータや携帯電話の正しい活用方法を身に付ける情報モラル教育 | <園・学校> |
| ○ 心と身体をリフレッシュする人や自然との触れ合い | <地域 社会> |



- ♥ あいさつをしよう
- ♥ 汗を流そう
- ♥ 本を読もう
- ♥ 対話をしよう

幸せはこぶ

筑北クローバープラン